

中之島図書館 展示のまとめ

2010年中之島光のルネッサンスは、大阪市庁舎・中之島図書館・大阪市中央公会堂周辺のエリア「中央会場（光のフェスティバルゾーン）」を中心に中之島全体を会場として開催され、過去最高の304万人の方が来場されました。

オリセン新春号でも紹介いたしましたが、この光のルネッサンス開催期間中の2010年12月13日～18日の6日間、中之島図書館3階文芸ホールにおいて本組合主催による「彩る技～注染・和晒の世界」の展示を行いました。この折アンケートを実施しましたが、6割以上の方から「来てよかった」との高評価をいただきました。解析可能なアンケートの内、半数以上の方が手拭いを使ったことが無い、又はフキンやお祭りの鉢巻きなど限られた使い方をしている方々でしたので、組合事務局として、今後の周知活動をどのように取り組んでゆくのか、示唆に富むアンケート結果を得られたと考えております。



文芸ホール全景

左手前に和晒コーナーを設けました。
和晒の変わり織りをはじめて見た方が多く好評でした。



堺柄ゆかた

注染や手拭いに興味がなかった若い人たちからの新鮮な驚きの声があり、高い評価をいただきました。



ゆかた反物



堺一心染め

堺一心染めには20代、30代の若い人たちから古典柄にも負けない多くの支持が集まりました。

中之島図書館展示のアンケート結果

平成 22 年 12 月 13 日から 18 日の 6 日間、中之島図書館において「彩る技～注染・和晒の世界」展を開催いたしました。入場者数は 500 名以上、アンケートの回収は 334 名になりました。

以下アンケートの結果をご報告します。

アンケート質問項目

1. 今回の催しは、どのようにしてお知りになりましたか？
2. 「てぬぐい」を使われていますか？また、どのようにして使われていますか？
3. 展示の中で気になるものはありましたか？
4. よろしければ展示会の感想をご記入ください。
5. 性別・年齢別・職業・府県市

「今後の組合周知活動にアンケート結果を活かしていく」ことがアンケートの趣旨であるので、③展示の中で気になったものがあつた方④展示会の感想、のうち少なくとも 1 項目を記入していただいた方のみ解析の対象といたしました。アンケート総数 334 枚のうち 244 枚が対象となりました。

「気になった」、又は「感想」といったすこし面倒な問いに対して記述でかいてくださった来場者を解析対象としていることを前提に解析結果をごらんください。

① 年齢別

年代層は 5 段階で分けた。各年代のアンケート数はほぼ同じ結果であつた。

男女比でみると、50 代以下では女性がほぼ男性の 2 倍であるが、60 歳以上ではほぼ同数になっている。

ここから、女性の「手拭い」または「注染・和晒」に対する関心は、50 歳代以下の年齢層では高く、60 歳を超えてくるとその関心度は低くなつている。

② 手拭いを使つているか、の質問については

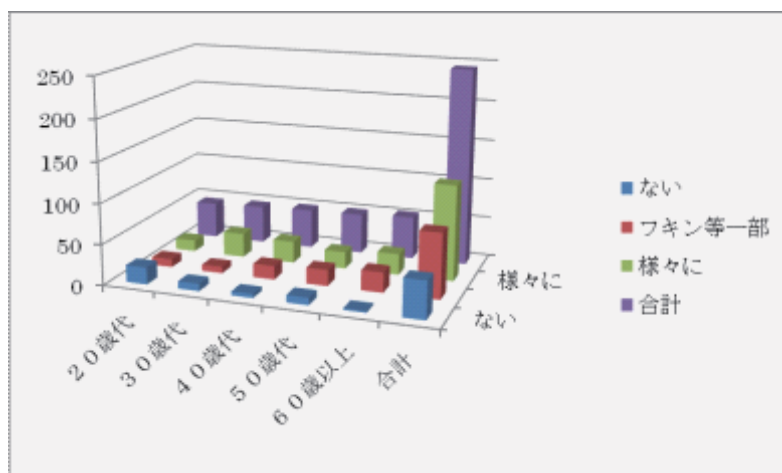
1. つかつたことが全くない
2. つかつたことはあるが、フキン、剣道、祭など限られた範囲で
3. 身体を洗う、汗ふき、インテリア、頭や首に巻くなど身近に使つている。

の 3 項で分析してみた。

20 代では 4 割以上のひとが手拭いを全く使つたことがない。これに対して 60 代以上ではその比率は 4% 弱に過ぎず、当然であるが 60 歳以上の殆どの方が手拭いの使用経験あり。

おもしろいのは「様々に使用」しているグループ

である。日常的に手拭いを使つているグループである。全体では 118 人で 5 割弱であるが、30 代では 6 割、40 代、50 代も 5 割以上である。特に 30 代、40 代の女性に限れば、66% にのぼる。現在、注染手拭いは静かなブームがつづいているが、この層の女性にささえられている。



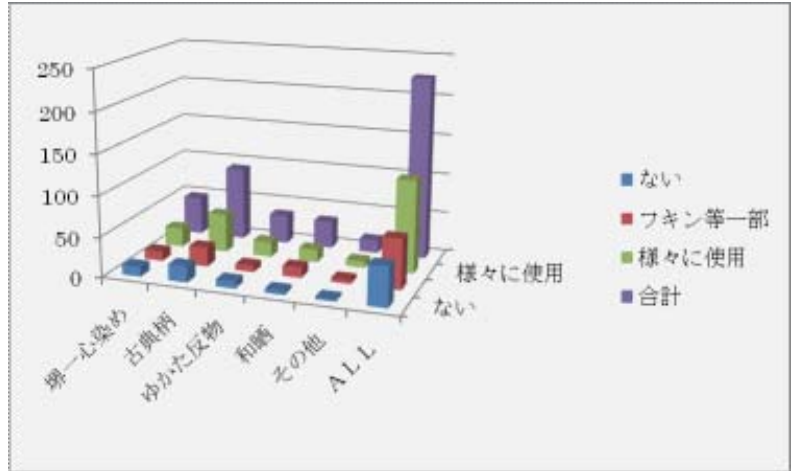
③ 展示で気になったものはありますか、の質問については

1. 堺一心染め
 2. 古典柄(昔柄) 浮世絵、冬景色、夜桜、組亀甲、いとし藤など昔ながらのデザインもの
 3. ゆかた反物
 4. 和晒(乱紵など変わり織りも展示)
- その他：堺柄ゆかた、キアヌ・上海市長贈呈ゆかた及び型紙

古典柄に人気が集まった。

しかし、堺一心染め、ゆかた反物、和晒も、15%以上の方が「今回の展示で気になった」展示物としておりいずれも巾ひろい支持を得た。

とくに 20 代、30 代の人たちに限ると、合計 92 名にに対して、堺一心染め 31 名、古典柄 32 名、ゆかた 19 名、和晒 10 名と堺一心染めの評価が高かった。



④ 展示会の感想

1. 非常によかった
2. よかった
3. まずまずよかった。
4. 物足りない

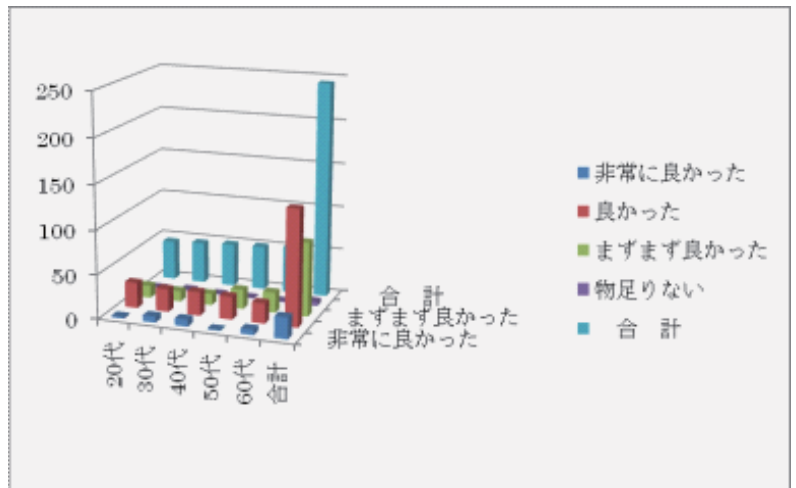
の 4 項目で評価した。感想がはいっていないアンケートは 4. まずまず、に分類した。

「物足りない」とされた 5 名の内訳

展示品が少ない 2 名、図書館展示に違和感 1 名、作品の面白さない 1 名、学生っぽい 1 名

展示内容そのものが「物足りない」とされた方は 2 名にとどまった。

非常によかった、良かった、と展示に高い評価をくださった方は 63%にのぼった。



ここで「非常によかった」方のコメントの一部を紹介します。

*こんなにきれいなものがあるんならほしいと思った。イメージが変わった。20 代女性

*すごく素敵でした。20 代女性

*非常によかった。もっと多くの作品をみたかった。

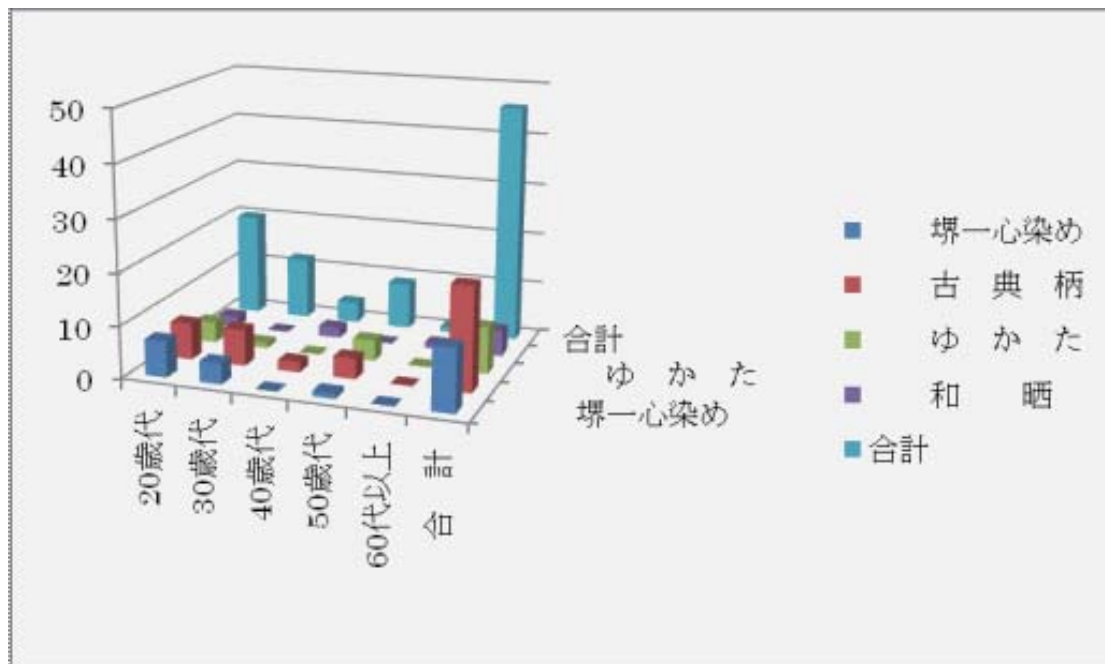
*ゆかた反物がかわいくてゆかたを着たくなった。30 代女性

*かわいいデザインから和柄まであり、とても素敵でした。30 代女性

- *色鮮やかで圧倒された。30代女性
- *絵画を見ているようで、とても楽しかったです。30代女性
- *晒の展示をはじめてみた。素晴らしかった。40代男性
- *手拭いの柄がいろいろあっておもしろかった。ほしいとおもった。40代女性
- *面白い!もっと早く来ればよかった。40代女性
- *とても美しい反物に感激しました。50代女性
- *伝統的技術、すばらしい。いつまでも残してほしい。60代男性
- *色とりどりできらめいている。70代男性

5 手拭いを使ったことが無い

最後に、手拭いを使ったことが無い、当然に「注染・和晒」はご存知ないグループです。
このグループの人たちが気になったものはなにでしょうか？



手拭いをまったく使ったことのない方も、堺一心染めや古典柄の手拭い、ゆかた反物に興味をもたれたようです。特に、20代、30代の若い人たちが、他の年齢層以上に興味をもっていただいた。初めて手拭いやゆかたの注染製品を見て、新鮮な驚きをもたれたのだとおもう。いまの若い人たちは、私たちが思っている以上に「日本の伝統文化」に興味を持っていると思いました。

今回の展示は中之島図書館と言う場所をお借りして行えましたので、手拭いを使ったことのない方や、使っていてもフキンや鉢巻き程度の方が過半数をしめました。そうした方々に、堺一心染めや古典柄の手拭いだけでなく、反物や和晒にいたるまで大変興味をもっていただけたことは心強いことです。

私どもも、注染実演や販売のみでなく、展示も定期的におこなっていくつもりです。

また、堺一心染め・オリセン手拭いに新デザイン、古典柄をさらに加えていくことで、皆様に注染という「本染め」の良さを知っていただく所存です。

今後ともよろしくおねがいたします。